

広げよう福祉の輪！

三徳だより

第87号 2016年(平成28年)春 一季刊—
発行：社会福祉法人三徳会



成幸デイサービス
ご利用者共同作品

特別養護老人ホーム 成幸ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL.(代)03-3787-3616 FAX.03-3783-6580 santoku-seikou@ap.wakwak.com

品川区立戸越台特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0041 品川区戸越1-15-23 TEL.(代)03-5750-1054 FAX.03-5750-1055 santokukai.togoshi-h@proof.ocn.ne.jp
杜松在宅介護支援センター <http://www.togoshiginza.net/togoshi/machi/topics/topics.cgi>
〒142-0042 品川区豊町4-24-15 TEL.(代)03-5750-7707 FAX.03-5750-7709

品川区立荏原特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0063 品川区荏原2-9-6 TEL.(代)03-5750-2941 FAX.03-5750-3695 santokukai@aw.wakwak.com
小山台在宅介護支援センター
〒142-0061 品川区小山台1-4-1 TEL.(代)03-5794-8511 FAX.03-5794-8512

品川区立小山在宅サービスセンター「小山の家」
〒142-0062 品川区小山7-14-18 TEL.(代)03-5749-7251 FAX.03-5749-7252
小山在宅介護支援センター TEL.(代)03-5749-7288 FAX.03-5498-0646

はじめに

我々消防団員は、普段は仕事等を営みながらも、いざ災害が発生した場合には、昼夜を問わず出勤し、消防署と連携して消火・救出・救護活動を行います。また、地域の催事に対する警戒活動、防火防災指導、応急救護指導などに精力的に取り組んでいます。

入団したきっかけは、皆様々ですが、「自分たちの街は自分たちで守る」という精神は共通しており、自己の知識や技術のスキルアップを図るため、皆で活動訓練に汗を流し、また消防学校で教育訓練を受講するなど頑張っています。しかし時折、「消防団って何をやる人達？」と耳にすることも…。そこで今回は消防団のことを少し紹介したいと思います。

消防団の歴史

消防制度ができたのは、寛永6年（1629年）、江戸幕府が大名に火の番を命じた「大名火消」までさかのぼりますが、東京の消防団の起源は、江戸時代の町火消「いろは48組」、「本所・深川16組」で知られる住民による消防組織が起源と言われています。その後、明治5年に「消防組」、昭和14年に「警防団」と変遷し、ついに昭和22年、全国の市町村に「消防団」が組織されるに至りました。

荏原消防団の概要

荏原消防団は、昭和22年に初代団長・鑄木政五郎氏が就任し、団員385名（7個分団）で発足しましたが、消防組織法の一部改正があり、現在は第8代団長・松澤利行氏が就任し、消防

団定員230名（7個分団）で編成されています。当消防団の管轄区域は、荏原消防署と同じで、品川区内の荏原地域を受け持っています。

私は「第三分団」を担当し、受け持ち区域の12町会内には、成幸ホームと区立平塚橋特別養護老人ホーム（今年5月オープン）があります。また、区立荏原特別養護老人ホームは「第一分団」、小山の家は「第二分団」、区立戸越台特別養護老人ホームは「第六分団」の受け持ち区域です。

消防団は男性ばかりと思われがちですが、当団には約40名の女性団員が在籍し、今年から新たに「女性消防隊（仮称）」を編成する予定であり、女性が活躍する場を年々拡充しています。

被害を最小限に抑えるために

地震や火災が発生した場合に備え「自分たち

が取るべき行動」と「被害軽減に向けての備え」について、自分たちで話し合い、実践的な訓練を行うことが大切であると思います。一つ一つの行動を確認しながら行うことで、不合理な点に気付くことも多々あります。

首都直下地震発生時には、広域に同時多発的に災害が発生するため、消防署はその対応に追われます。初動対応時に効率的かつ被害を最小限に抑えるためには、我々消防団を含めた地元住民の方々の力を合わせることが大切であると思います。

消防団員の募集

当消防団では新入団者をいつでも歓迎しています。昨年は19名もの新入団員があり、今年も既に4名の入団希望もあり、団員間の活性化も図られています。一方では定年で勇退する団員数も多いのが実情です。18歳以上の健康な方で、居住地又は勤務地を管轄している消防団に入団できますので、最寄りの消防署・消防団本部等へお問い合わせください。

最後に、私の生まれた年に組織編成された「消防団」は自分としては縁を感じています。今後「も精一杯、地域のために皆様方と安心・安全の街づくりをしてまいりたいと思います。一人の力は微力ではありますが、団員全員が一丸となり地域を守るため、これからも仲間を募ってまいります。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

地域の安全を守る 消防団



荏原消防団
第三分団長

加増 信行



プロが教える 「ことば・聴こえ・飲み込み」

平成 27 年 10 月 31 日(土) 荏原文化センター

講師 臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科
内藤 明先生(学科長)「きこえの話」
馬目雪枝先生(副学科長)「子どものことばの話」
浜田智哉先生(専任教員)「認知症と飲み込みの話」



内藤明先生



馬目雪枝先生



浜田智哉先生



新しい施設で始まる事業について

話す、聞く、表現する、食べる…。誰でもごく自然に行っていることが、病気や事故、加齢などで不自由になったり、生まれつきの障害を持つ方もいます。5月開設の品川区立平塚橋多世代交流支援施設「平塚橋ゆうゆうプラザ」には、そのような悩みを持つ方の相談を受ける機能が整備されます。今回の地域交流会では、この事業を担当する3人の言語聴覚士(S.T.)の先生方から、相談事業の説明とそれぞれの専門分野のわかりやすいお話をうかがいました。

子どもから高齢者まで関わるS.T.

言語聴覚士とは何をする人か？ まずは内藤先生から一般的な話がありました。コミュニケーション、聴こえ、飲み込み、言語発達にさまざまな原因で障害を持つ方と家族に、評価・訓練・指導

を行い、自分らしい生活をつくれるように支援します。生活の多岐に渡り、年代も乳児から高齢者まで、活動する領域も医療機関、保健・福祉機関、教育機関などと幅広い職種です。

続いて、こどもの領域について馬目先生から伺いました。小児領域では、

主に言葉やコミュニケーションなどの発達障害に関わり、発達支援センターや特別支援学校など教育の場にもその活動が必要とされていますが、現状は相談する場所が少ないです。お母さんたちは周りの子どもと比べて、自分の子どもの成長について次のような相談があります。①言葉が遅い。②「さかな」を「しゃたな」と言うなど「た」「ぞ」「か」の発音がうまくできない。③「で、で、でんしゃ」と吃音がある。④人と目が合わない、呼んでも振り向かない、集団行動ができないなど、社会性の発達がゆっくり。⑤小学校で教科書が読めない、字が書けない。⑥落ち着きがない、忘れ物が多い。言語聴覚士はその子の発達の特徴をとらえ、発達のきっかけを作る支援をします。気軽に相談して欲しいです。

高齢者の領域については浜田先生から、まずは認知症についてのお話がありました。物忘れは体験したことの一部を忘れますが、認知症は体験したこと自体を忘れ、生活に支障があるという違いがあります。予防として高血圧や高コレステロールなどさまざまな血管性危険因子を取り除くことも大切になります。

食事の工夫と聴こえについて

次に、飲み込みの障害についての話です。通常食べ物が口に入ると、舌や上顎、喉や気管などの働きで食べ物や喉の奥へと送っていきませんが、認知症

やささまざまな病気により、うまくいかなくなりません。食事に集中する工夫として、食べ物とわかるように立派な皿に盛ったり、テレビを消す、無駄なことを話しかけないことがあります。姿勢は顎を引き、たくさん口に入れないようにスプーンを小さくするなどよいと話がありました。

聴こえづらさを補う

最後に内藤先生の話によると、高齢になると音や言葉が歪んで聞き取りにくくなる、特に高い音が聴きづらくなり、それらは内耳の中にある毛が摩擦して、音が伝わらないようになるためということでした。聴こえづらいくとで人を避けるようになったり、一方的な会話になるなど変化が起こります。手術や投薬で改善できることもあれば、補聴器や人工内耳を使用することも考えられます。補聴器は聴こえの程度によって、合ったものを選ぶことが大切です。また、生まれつき重度の聴覚障害を持つ子どもには、発見の遅れが言語の発達、認知機能、社会性に影響を与えるため、1歳6か月健診や3歳児健診が大切になります。そして、人工内耳の使用で生活の質の改善や向上が図れます。

質疑応答では参加者から活発な質問があり、また、終了後も先生方に個々に質問される方がしばらく続き、新事業に対する皆さんの期待が伺えました。

ホームで迎える 四季折々

～冬から春へ～

春夏秋冬…。ホームでは日々の生活のなかで、四季の移ろいを感じて暮すことを大切に、様々なことを行っています。今回は晩秋から師走を迎え、新年のお祝いをする待ち遠しい春までもうすぐという、冬から春へ向かう暮らしの一コマをご紹介します。

霜月(十一月)

窓ガラス清掃

秋の夜長のこの頃。11月の下旬にもなるとそろそろ年越しの準備に入ります。とある土曜日、企業ボランティアの皆さんが成幸ホームの窓ガラスと網戸の清掃をしてくださりました。丁寧ながらも手際よく、隅々まで洗って窓ガラスはピカピカになりました。これでご利用者の皆さまと気持ちよく新年を迎えられます。



外して洗えばきれいさっぱり



手際よさにびっくり

師走(十二月)

ゆず湯

「師走」の字の通り、大晦日が近づくにつれて何かと

気忙しくなっています。昔はお正月準備で、障子の貼り替えをされた家庭も多かったのではないのでしょうか。冬至はゆず湯と、ホームの皆さまに「ゆず湯」を堪能していただきました。

餅つき会

恒例の餅つき会。昔ながらの杵と臼で、つく人と返し手の相性が出来ばえを左右します。お好みで小豆、あべかわ、おろしの味をどうぞ。

クリスマス会

施設それぞれが趣向を凝らしたイベントです。職員の出し物、フラダンスサークルによる「クリスマスフラ」、ご利用者と楽しむ楽器と歌などで盛り上がりました。新施設「平塚橋ホーム」の開設に合わせて多くの職員採用を行います。入職予定の学生や社会人の皆さんがボランティアとして参加しました。また、戸越台中学校の生徒との交流や吹奏楽によるクリスマスコンサートはご利用者も心待ちにする恒例のイベントです。



戸越台中学校の生徒から花束を



クリスマスプレゼントは戸越台中コンサート



サンタの帽子でクリスマスフラ



餅のつき手は力持ち(餅?)におまかせ



ゆず湯で温まりました

大晦日

館内を彩るお正月飾り。「ゆく年くる年」の準備万端です。大晦日の夜は年越しそばを味わいながら一年を振り返ります。夕食を出し終わると、厨房は息づく間もなくおせち料理の準備にとりかかります。



新年らしいご利用者の書き初め



玄関の正月花もきれいです

睦月(一月)

元旦

今年も申年。年女のご利用者にお屠蘇が振る舞われました。元旦の天気は上々でしたので、屋上まで出てみました。気持ちのよい青空の下、晴れ晴れとした気分新年を迎えることができました。



晴天に恵まれた元旦



今年もいいことありますように



「申年」のご利用者が代表で



おせち料理の準備は夜が明ける前から



彩り鮮やかなおせち料理

お膳です。嚙下が困難な方には刻みやムース状にして出し、皆さまに味わっていただくために、お雑煮は粘りが少ない安全な餅にするなど工夫しています。

初詣と七福神

今年も皆さまが健康でよい年になりますようにとお願いました。また、成幸ホームではエレベーターに七福神で一行が乗り込み「おめでとございませう」と皆さまをお出迎えました。「これは縁起がよいですね、福祿寿(幸福長寿)、寿老人(延命長寿)にあやかりたい」と手を合わせる方もいらっしゃいました。



よい年でありますように



成幸七福神がお出迎え

如月(二月)

節分と桃の節句

立春の前日である節分は「季節を分ける」ことを意味し、もうすぐ待ち遠しい春が訪れます。皆さま元気に「福は内、鬼は外」と福豆をまき、厄除けを行いました。昼食は邪



ポーズも決まった青鬼

実施月	行事名	内容
4月	花見	さくらご飯
5月	みどりの日	グリーンピースご飯
	端午の節句	筍ご飯
7月	七夕	七夕そうめん
	土用の丑	鰻ちらし寿司
8月	終戦記念日	すいとん、さつま芋きんとん
	納涼祭	焼そば、たこ焼き、枝豆
9月	防災の日	非常食品
	敬老の日	赤飯、ブリの照り焼き、黄菊となめこの和え物、清汁、フルーツみつ豆
	秋の彼岸(秋分の日)	おはぎ
11月	十五夜	月見だんご、月見にちなんだ料理
	文化の日	菊花寿司、炊き合せ、清汁、白菜漬、フルーツ
12月	餅つき会	小豆餅、あべかわ餅、おろし餅
	冬至	小豆ご飯、南瓜の含め煮
	クリスマス	ケチャップライスミモザ風、ローストチキン、クリスマスデザート
	大晦日	年越しそば
1月	正月	おせち料理
	七草	七草粥
	鏡開き	汁粉
	小正月	小豆粥
2月	節分	鯛、節分豆ご飯
	バレンタイン	チョコレート菓子
	建国記念日	混ぜ寿司
3月	桃の節句	ちらし寿司、茶碗蒸し、菜の花の和え物、フルーツ、桜餅、ひなあられ、甘酒
	春の彼岸(春分の日)	ぼたもち

歳時食

施設では四季折々を感じていただくために、年間を通して旬の味わいを大切にしたお膳やバイキングの「おたのしみ食」があります。また、懐かしい「歳時食」は昔を思い出し、季節を感じる食事として好評です。左表は施設で提供する代表的な歳時食です。(施設によって内容を変更する場合があります)

気除けの鰯と豆ご飯で、おいしく食べて健康にと無病息災の願いをしました。そして早く暖かくなりますようにと、3月の足音が近づく前にひな人形のお出ましです。



早々とお出ましの殿と姫



お好みで味わうバイキング



桃の節句御膳



見て選ぶのもまた楽し



敬老祝膳

おせち料理

毎年、調理の皆さんが腕によりをかけて作るおせち料理は、ご利用者が楽しみにしている目にも鮮やかな

戸越台ホーム



「第20回 戸越台複合施設合同作品展」

開設20周年を迎えた今年の作品展のテーマは「挑戦ー私のChallengeー」でした。クラブの時間に作った「デイサービスと特養ご利用者の作品、ご利用者家族の作品、八幡福寿会、永寿会、豊画会、松葉会など地域の高齢者クラブの作品、荏原歯科医師会、地域の皆さまの作品に加え京陽小学校、宮前小学校児童の作品など630点もの作品が展示されました。1月15日から23日までの開催中、施設は大勢の地域の皆さんで賑わいました。「毎年楽しみにしています、今年は力強い作品が多かったです」「地域とともにある作品展、施設に触れる良い機会になっています。これからもずっと続けて下さい」などの感想が寄せられました。

成幸ホーム



「お互いさまの助け合っ」

今年度の施設ケア研修(品川福祉カレッジ)は「日常の楽しみや生きがいを持つて生活をする」とし、9か月にわたり取り組みました。受講生は「生きがい」とは、ご利用者自身が自らの力を発揮できることだと考え、そのための環境づくりを行い援助しました。取り組みの一例をあげると、急須でお茶を煎れて近くの席の方に配る、皆さんが使うタオルをたたんでもらうなどです。最近では男性も慣れた手つきでお茶くみをし「お茶が入ったよ」と声をかけると「いつもありがとう」という返事をきっかけに会話が弾む場面も見受けられます。これからもひとつ屋根の下、お互いさまのご近所づきあいが続きますように。



小山の家



「鬼はー外！」

今年も節分がやってきました。小山の家でも豆まきをしました。福が来るように玄関、フロア、和室等すべての部屋で皆さまに元気よく大きな掛け声で「鬼はー外！」と鬼に向かって力強く豆を投げていただきました。さて、ここで豆まきについての知識を一つ。豆まきを行うのに相応しい時間帯や、鬼を追い払った後にやることがあるのをご存じでしょうか？実は日が暮れる頃に窓を開け、家の奥から外に向かって撒き、鬼を追い払った後はすぐに窓を閉めて数え年の数の豆を食べて鬼退治が完了します。節分とは元は季節の最後の日のことですが、素晴らしい春を迎えられるようにと2月の節分だけが習慣として残ったそうです。ですから皆さまも是非やってみてはいかがでしょうか！

「福は内！」

荏原ホーム



「わいわいごきざか 雛飾り」

毎年春になると荏原ホームのロビーを華やかにする豪華な七段雛飾り。今年もデイサービスのご利用者、ボランティアさんと2日ばかりで無事に完成。調度品や人形の持ち物も精工に作られているので、同じに見える鼓でも一つ一つ正確に身に付けさせないと収まりが悪くて落ちてしまいます。「どっちが右大臣でどっちが左大臣?」「赤い顔した方が右大臣でしょう。」「じゃあこの人、吞兵衛なんだね」などと話をしながらにぎやかに。途中、たまたまた来た小さな女の子も箆や手鏡などうれしそうに手伝ってくれて、出来上がり。と思つたら、「つるし雛が出てないじゃない!」と長年通われている方にお叱りをいただきましたが、「これを見ると春が来たって感じがするわね」と喜んでいただけました。

平成27年度 品川保健従事者実践・研究発表会

日時 ◆平成28年1月30日(土)
会場 ◆品川区役所講堂
主催 ◆品川介護福祉専門学校

プログラム

1 開校20周年記念講演

「豊かな地域社会を拓く介護福祉人材の未来」
社会福祉法人浴風会理事長 京極高直氏



2 福祉保健従事者発表

昨年に引き続き第2回目となる「品川福祉保健従事者実践・研究発表会」は区内の福祉・医療の現場から様々な研究成果を募集し、発表の場となっています。毎年多くの申し込みがあり、施設従事者を始め、参加された福祉・医療関係者の方々も熱心に事例を聞いていました。三徳会からは昨年に続き各施設より事例を出し、そのなかの2組が発表に臨みました。

成幸ホーム

「サービスマナー委員会の取り組みについて」**優秀賞**

発表者／坂口菜摘・島津英一・飯泉優子

サービスマナーとは、相手を大切に思う気持ちを状況に応じて適切に表現すること(※1)と定義されており、介護サービスを行う上でケアワーカーの関わり方を方向付けるものとなります。施設では平成25年にサービスマナー委員会を

立ち上げ、普段の何気ない声かけや居室へ入る際に気を付けたり、つい忘れがちになることを、座学やロールプレイの勉強会を通じてマナーを学ぶ機会としています。また、職員にアンケートを実施し、マナーが守られないのは就業年度、経験によっても異なることが把握できました。こうした

勉強会やアンケートの分析など、取り組みを行った結果、職員のマナーに対する姿勢に変化が見られ、ご家族からも良い評価をいただいたことも含めて発表しました。

小山台支援センター・小山の家

「ずっとこの街で暮らしたい」

認知症のある独居高齢者を支える協働チーム

発表者／園部将義・薄葉正徳・筒井一浩

男性の独居高齢者を区役所、ケアマネジャー、主治医や訪問看護、デイサービス、地域の人々などが連携して支援することで、ご本人が望む「住み慣れた街での暮らし」をいかにして継続できるように取り組んだ事例です。その人らしさを大切にすることを共通認識としたチームでの関わり方は、今後ますます増えるであろう独居高齢者のサポート事例として関心が寄せられていました。

研究発表は全8事例、会の締めくくりには発表者表彰が行われました。全事例を対象に審査員による厳選なる審査が行われ、今回は成幸ホームの「サービスマナー委員会の取り組みについて」が見事に優秀賞を受賞しました。前日まで練習を重ね、わかりやすくポイントを絞った内容と、発表者のきはきとした口調も高評価につながったのかも知れません。

今後より良いサービスを目指し様々な角度から取り組み、広く知っていただけるように発表の場に



成幸ホーム発表者

に参加していきます。と考えています。
※1 東京都社会福祉協議会「高齢者福祉におけるサービスマナー実践ワークブック」より

ひとりごと

—職員リレーエッセイ—

ボクは昭和の相撲少年

幼い頃から相撲が大好きだ
小四まで祖父母共に健在で
TVは相撲が必然だったからね
当時は《史上最強》北の湖の全盛期
でも我が家は横綱でも輪島派
威風堂々威張っている北の湖は
我が家では悪役

千秋楽結びの一番、北の湖対輪島
果たしてどっちが強いんだ？
アントニオ猪木も格好良かったけど
熱心に応援したのは

北の湖と輪島の横綱対決だなあ
他の名脇役も土俵を盛り上げた
名大関貴ノ花に、演歌歌手増位山
ビールのCM、キリン児とアサヒ国
突っ張りの富士桜、がぶり寄りの琴風
千代の富士はまだ弱かった
初めて覚えた外国人名…高見山

いや、アグネスとブルースリーだな
両国ではなく蔵前国技館
北出、杉山アナに解説は神風、玉の海
千秋楽は「ヒョー・ショー・ジョー」
これを見ないと損した気分
パンアメリカン航空の
デビッド・ジョーンズさん
昔の事つて忘れないね

成幸ホーム

林 敦史



平成28年5月開設 平塚橋特別養護老人ホーム 開設間近になりました！

最新情報はホームページで
ご覧ください
<http://www.santokukai.com>

シートが外れました



完成に向けて

建物全体を覆っていた工用のシートが取り除かれ、建物の全容が見えてきました。完成予定図のイメージ通り、外装は落ち着いた明るい茶系の色で、この地域の温かな雰囲気にあう建物となっています。地域の皆様にも「いよいよだねー」、「もうすぐオープン、頑張ってください」と声をかけていただきようになり、職員も楽しさ



入居フロアは2～4階です

を感じながら、身の引き締まる思いです。3月にはシヨートステイの申し込みが開始され、4月には職員研修をしっかりとやり、皆様を受け入れる準備を進めます。

5月1日のオープン、ぜひこの日を地域の皆様と一緒に祝いし、地域に根ざした、新たな福祉の拠点となるよう、よいスタートにしたいと思えます。



ワクワクするパンフレット

色とりどりの平塚橋ホームです

「色」は人の気持ちをワクワクさせたり、心を落ち着かせる効果があるのをご存知でしょうか？ 平塚橋ホームで

は、色にこだわり、様々な色を椅子やソファ、カーテンに使用して、落ち着きのある、明るい色で生活空間を彩ります。

真紅(しんく)	琥珀(こはく)
牡丹(ぼたん)	黄金(こがね)
東雲(しのめ)	菜花(なのはな)
瑠璃(るり)	常盤(とぎわ)
桔梗(ききょう)	若草(わかぐさ)
青竹(あおたけ)	

和名の響きが落ち着きます

職員募集中！

入居された方が暮らす生活の場を「ユニット」といいますが、そのユニットの名前にも色の名前を付けました。たとえば、琥珀(こはく)や菜花(なのはな)、桔梗(ききょう)や青竹(あおたけ)という色を漢字で表記し、親しみを感じていただけるような名前としました。十人十色といいますが、そこに住むご利用者にもいろいろな方がいらつしやると思えます。いろいろな「色」が平塚橋ホームで一緒になり、新たな希望を感じる「彩り」を醸し出せたらと思えます。

平塚橋ホームの開設が待たれる中、一緒にワクワクを作る仲間を募集しています。5月の開設に伴い、4月から様々な研修を行いますので未経験の方も安心して働けます。

一緒にワクワクをつくりましょう！

【問い合わせ先】

平塚橋特養ホーム開設準備室

TEL (5750)3632